

平成 22 年度 第 1 回三輪公民館運営審議会開催報告

1 日 時 平成 22 年 6 月 8 日 (火) 午後 3 時から 5 時

2 場 所 三輪公民館 1 階 学習室 1

3 出席者 委員 8 名
事務局 2 名

4 議 事

(1) 平成 21 年度三輪公民館事業報告について

(2) 平成 22 年度三輪公民館事業について

5 議事概要

(1) 平成 21 年度三輪公民館事業報告について

事務局より別添資料に基づいて説明。これに対し以下の意見・質問・提案があった。

委 員：子育てセミナーのお手伝いをいただいている「美和会」はどんなグループか。

事務局：以前お願いしていた日赤奉仕団の皆さんがそのままボランティアとして引き継いでいただいている。メンバーは 4 地区から 2 名ぐらいずつ出ていただき、現在 7 名である。

委 員：地域公民館建設事業補助金について、返目公民館が補助を受けたようだが、どのような内容の工事か。

事務局：耐震化の工事を行い、全体で約 100 万円の工事で、3 分の 1 の補助を受けた。

委 員：学級講座「歴史入門」は人気の講座のようだが、受講生の年代は。

事務局：60 代・70 代が大半である。

委員：もっと学ぶべき 40 代・50 代の若い年代に学んでほしい。その年代はなかなか時間がないだろうが…。

委員：フランス食文化は 7～8 年続いている講座で、なかなか受講生が集まらないということだが、1 回受講すれば十分なのもかもしれない。40 代・50 代の皆さんが受講してくれればと思う。お菓子の講座は、和菓子・洋菓子などいろいろ経験できて楽しかった。いずれにしてもいろいろな年齢層に受講してもらうのは難しい。

委員：キッズふるさとふれあい体験活動について、積極的に関わっていただき感謝である。公民館に唯一子どもが直接係わる貴重な講座である。これまでの経過は「子ども公民館」が廃止になった後、地区会議から自然体験は残そう、という提案で継続されたもの。22 年度は住民自治協議会の教育文化部会主催で行うが、子どもの側に立った事業を行っていただきたい。講座の組み立てが難しい、人が集まらないなどの課題はあるが、原点に戻って子どもの要望を聞き、原体験を土台にしながら、公民館の事業として位置づけてほしい。

委員：(キッズに関連して)子ども会を発展させて子どもや保護者が何を考えているのか、つかんでいきたい。

委員：(キッズに関連して)この講座の良いところは、子どもが体験を学校へつなげてくれていることである。おやき作りや竹とんぼなどが学校のプログラムに広がっていている。

委員：(キッズに関連して)公民館でつかんでいることを情報として学校に流して言ってほしい。

事務局：引き続き地域との係わりを大切にしていきたい。

委員：市立公民館と地域公民館の違いは何か。

委員：市立公民館と地域公民館の役割は違うが、両者は連携を深めなければならない。出前講座や、成人式など市立公民館でなけれ

ばできないこともある。各地域公民館の活動にも大きな差がある。

(2) 平成 22 年度三輪公民館事業について

事務局より別添資料に基づいて説明。これに対し以下の意見・質問・提案があった。

委員：公民館が将来的に指定管理者制度に移行するという点について、運営委員の立場で口を出していいのかわからないが、これは地域の必要性で出たものではない。公民館は地域の拠点であり、社会教育の特殊機関なので、地域は慎重に受け止めなければいけない。

委員：このような問題は期限が来ないとなかなか進まないが、公民館には専門性が必要。利益の出る事業ではなく、メリット・デメリットがある。地域の人材不足もあるし、期限が迫ったところで、猶予期間を与えておいたといわれぬように、地域の要望を聞きながら、今から十分な議論・勉強が必要だと思う。

委員：先ほど新しい企画を取り入れたいとの話だったが、具体的には何について考えているのか。

事務局：教養大学について考えている。今年度まだ未定の講座もいくつかあるので、受講生の皆さんの要望も聞きながら、前年度並みで終わらないよう努力していきたい。

委員：発想の転換が必要である。カルチャーセンターでは、文学の「源氏物語」の講座が人気である。またダイエットなどの講座も人が集まる。

事務局：今後、身近なものとして健康や相続などについて企画していくことも検討している。

委員：三輪教養大学は単独の講座の受講は受け付けないのか。また毎年同じ人の話ばかりという感想が出ていた。40代・50代の人

たちが単発で参加できるような講座を設けたらどうか。それから1学期を通して同じテーマを深めるようなやり方もいいのではないか。

事務局：基本的には、年間を通して申し込んでいただいた方に受講していただいている。クリスマスコンサートはオープン講座である。老人大学からの流れで若い人が入りづらい雰囲気もあるので、年2回くらいオープン講座を検討したい。

委員：キッズについて低学年の子どもが来るので、危険がないよう安全で楽しくできるよう配慮していきたい。（小刀を使う講座で、保護者もうまく使えないことがあった。）

委員：予算が厳しいのは承知しているが、3階ホールのモップ掛け、修理できないか。

事務局：修理不能と思われるので、別のものを考えたい。その他修理必要な箇所・故障についてはできるだけ迅速に対応していきたい。